

令和6年度ひょうごCSA推進シンポジウム

# 「農」を支えるシンポジウム

～CSAでつながる、地域を支える～

日時

2025.1月22日(水) 13:30▶16:30

場所

兵庫県立のじぎく会館大ホール  
神戸市中央区山本通4丁目22番15号

定員

会場：100名 オンライン：200名

※先着順。定員になり次第締め切ります。

参加費

無料

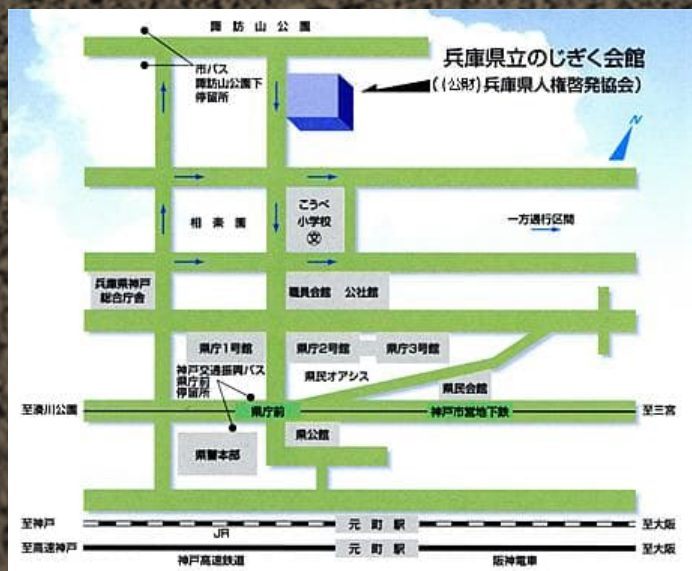
参加申込



URLまたはQRコードから申込

<https://forms.office.com/r/jz/tevhRXZ>

【申込締切1月17日】



# プログラム

13:30~13:35 開会挨拶

13:35~14:45 基調講演

15:00~16:30 パネルディスカッション

## 登壇者一覧

### ○基調講演

#### ・株式会社河北新報社 記者 門田 一徳氏

1997年、河北新報社入社。本社報道部、東京支社などを経て現在は本社せんだい情報部。

宮城県大崎市の「鳴子の米プロジェクト」、東日本大震災被災地などの地域支援型農業(CSA)を報道。

日米教育委員会の2016年度フルブライト・ジャーナリストとして米コーネル大客員研究員に就き、CSAの先進事例を10カ月取材。

2024年、東北大学大学院農学研究科博士課程修了。専門はCSA、農業倫理経済。主な著書に、『農業大国アメリカで広がる「小さな農業」進化する産直スタイル「CSA」』(家の光協会)

### ○パネルディスカッション

#### ・京都大学大学院農学研究科教授 辻村 英之氏

金沢大学経済学部助教授を経て現職(農業食料組織経営学分野所属)。

キリマンジャロコーヒーの産地における農家経済経営・協同組合やフェアトレード(農業を買い支える仕組み)の実態を研究するとともに、日本の農村におけるそれら実態との比較を試みている。

主な著書に、『農業を買い支える仕組み—フェア・トレードと産消提携—』『おいしいコーヒーの経済論』『キリマンジャロの農家経済経営—貧困・開発とフェアトレード』。

#### ・BIOCREATORS 代表 大皿 一寿氏

兵庫県神戸市で「ナチュラルイズムファーム」を運営する有機農家。

近郊の有機農家と結成したBIO CREATORSというチームでCSAに取り組んでいる。また、個人消費者だけでなく、有機野菜を地元農家がオフィスへ届ける野菜の定期便である職場CSAを行うなど、多岐にわたる活動を展開。

#### ・株式会社ロート製薬 広報・CSV推進部 戸崎 亘氏

ロート製薬に入社後、大手ドラッグストア本部への営業、環境分野の新規事業、地域連携ビジネス、コンセプトサロンの運営などに携わる。

CONNECT FOR WELL-BEINGをコーポレートスローガンに掲げ、薬に頼らなくてもよい健康な世の中の実現に向けて様々な事業にチャレンジする中で、食の事業を通じて私たちの心身の健康のみならず、その食が生まれる地域も健康にできないかと考えて、全国各地のパートナーと連携しながら新たな価値の創出、仕組みづくりを進めている。

#### ・ToCSA (トコサ) 開発・運営 遠藤 真森氏

神戸生まれ、北摂育ち。孫ターン・ターンで2021年春に豊岡へ移住。豊岡市グッドローカル農業推進支援員として農業・農村の活性化を支援。その他、複数人で共同管理する農園を運営したり、丹波市のNPO法人で住民自治支援を行うなど、「農」や「暮らし」をテーマに活動。

2023年から、地元農産物等の予約購入・配達を軸に、地域としてCSAを拡げ、持続可能な地域農業・社会を目指す新サービス『ToCSA(トコサ)』を開発。

2024年春夏にサービスの試験提供を行い、秋にアプリリリースとともに本格展開(予定)。